

公益財団法人全国商業高等学校協会 事務局より報告事項

日頃から、全商協会主催の検定や競技大会等、諸事業に、ご理解・ご支援、ご協力いただき、改めて感謝申し上げます。

検定試験に対するアンケートなどにより、たくさんのご意見・ご要望をいただき、重ねてお礼申し上げます。皆様から、いただきましたご意見やご要望は、事務局として真摯に受け止め、継続的に検討してまいります。

つきましては、令和3年度以降の事業運営に関わる事項等について、次のとおりご報告いたします。ご確認いただき、ご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

1 「新学習指導要領に準拠した公益財団法人全国商業高等学校協会主催の各種検定試験等のあり方について」を受けた各検定試験の変更および今後のスケジュールについて **資料1**

平成31年2月2日「新学習指導要領に準拠した公益財団法人全国商業高等学校協会主催の各種検定試験等のあり方について」の答申を受け、その後、各項目について、理事会等での具体的な審議決定事項について、青囲み内に記載しました。

また、実施に関するスケジュールを整理して、別紙「答申に基づいた新検定試験実施へのスケジュール」として示しておりますので、ご活用ください。

なお、この資料については、全商協会ホームページよりダウンロードが可能です。

2 令和4年度以降の三種目以上1級合格者表彰規程の変更 **資料2**

令和2年度第5回理事会及び令和2年度臨時評議員会での決議により、令和4年度より会計実務検定試験の検定名が変更されることに伴い、三種目以上1級合格者表彰規程の一部変更を行う必要があることから、資料の赤文字のように変更します。新会計実務検定試験の3検定のうち、1つ以上の取得を1種目とします。また、種目として、11種目合格とはせず、現行の9種目合格を全種目制覇とする考えを継承し、生徒への負担増加を避けることといたします。

3 珠算・電卓実務検定、ビジネス文書実務検定、英語検定試験および会計実務検定試験規則・施行細則の一部改定 **資料3**

令和2年度第4回理事会での決議により、答申に基づき、4つの検定試験について試験規則と施行細則を改定いたします。珠算・電卓検定では4級以下の廃止と部門合格の有効期限の取扱い、ビジネス文書検定と英語検定では4級の廃止、会計実務検定では一般受験料の廃止が改定内容です。

4 商業経済検定試験施行細則の一部改定 資料4

答申において、検定試験の社会的評価の向上に資するため、検定内容のレベルについて見直しを行うことが示されました。それを受け、以前から試験時間の見直しについて全国からの要望があることを踏まえ、問題のレベルと試験時間について協議を行いました。令和2年度第4回理事会での決議により、問題のレベルを考慮し、1・2級の科目を60分から50分に短縮します。実施時期は、令和4年度の新学習指導要領の対応年度とします。

5 ビジネスコミュニケーション検定試験規則・施行細則の一部改定 資料5

令和2年度第5回理事会での決議により、答申に基づく令和4年度からの面接試験の廃止に伴い、移行期における特例とし、令和4年度・5年度に限り年2回、7月の第2日曜日と12月の第3日曜日（午後）に実施します。

また、試験時間については、7月検定は午前9時から午前9時40分までとし、新たに実施する12月検定については、同日実施の英語検定試験終了後の午後1時30分から午後2時10分までとします。この2点について、試験規則・施行細則の該当箇所を改定します。

6 ビジネスコミュニケーション検定試験の文部科学省後援申請 ※資料なし

ビジネスコミュニケーション検定試験を主催することについて、現在、文部科学省後援名義の使用許可申請をしています。使用許可が下り次第、本協会ホームページにその旨を掲載いたしますので、ご確認をお願いします。

7 新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う令和3年度各種事業の対応 資料6

令和2年度第5回理事会の決議により、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、令和3年度の各種事業の開催について、資料のと通りの対応とします。各種全国大会については、次のとおりです。

【令和3年度各種全国大会】

感染リスクの高い活動として指定されている「昼食」は原則無しとし、競技終了後、参加者は随時帰宅。よって、閉会式は会場で行わず、成績はホームページ上での発表とする。

(1) 全ての全国大会についての制限

資料参照

(2) 競技ごとの運営方法

- ① 簿記競技大会・情報処理競技大会・ワープロ競技大会は、昼食はなし、競技終了後は解散、閉会式は行わず、成績は、ホームページでの発表とし、賞状・賞品は後日郵送。
- ② ビジネス計算競技大会については、競技の特性上、競技が午後に及ぶため、希望者に昼食の提供を行う。

- ③ 生徒商業研究発表大会については、発表内容並びにプレゼンテーション能力を審査することから、発表校以外が観客となり発表時の条件を平等にすることと、自校以外の発表を聞く事も大会に開催する意義であることから、参加者全ての生徒は終日参加するものとする。希望者に昼食の提供を行う。

参加者全員が終了時までにいることから、成績発表のみの簡易的な閉会式を会場で実施。賞状・賞品及び審査講評は後日郵送。

- ④ 英語スピーチコンテストについては、午前の発表をレシテーションの部、午後の発表をスピーチの部とした入れ替え制での実施。

8 令和3年度以降各種競技大会賞品の統一 **資料7**

令和2年度第5回理事会での決議により、答申を受け、令和3年度以降の各種競技大会賞品の統一について、資料のとおりとします。

9 各種全国大会等の連続入賞による特別表彰規程 **資料8**

令和2年度第3回理事会での決議により、答申を受け、各種全国大会において、連続入賞し続けた学校を表彰する規程を新たに定めます。

申請は各学校からとし、表彰は校長会の周年事業の一環として表彰します。

10 令和3年度以降の検定試験実施上の変更点 ※資料なし

検定試験の実施にあたり、事務手続き等で変更となる点がございます。詳細については、3月末に各会員校に配布する「令和3年度検定試験関係書類集」に記載されますので、ご確認をお願いします。

(1) 1月・2月実施検定試験の合格者データの登録について

三種目以上1級合格者表彰の申請手続き及び賞状等発送のスケジュールにより、1月に実施する簿記検定、情報処理検定及び2月実施の商業経済検定の合格者データ登録期間が例年から変更になります。

(2) 商業経済検定試験 試験委員、監督・採点手当等登録及び収支報告日程の変更について

公認会計士の指導により、商業経済検定試験の試験委員、監督・採点手当等の登録期間を短縮し、試験場校、本部校及び検定委員会における収支報告締切日を例年より1週間程度繰り上げます。

(3) 本部校担当者の検定日業務について

検定の実施に当たり、本部校担当者は検定日に本部校において待機をし、試験場校にて採点時の疑義等が発生した場合や検定試験中止の際の対応、並びに本協会との連絡事務等を行っていただくようお願いします。

(4) 合格者データの登録の「全商へ送信」作業について

合格者データの「登録中」の状態はデータが全商に届いていない状態です。合格証

書のお届けが遅延しないための対応として、今後は、登録の締切日以降の「登録中」データは自動的に「送信済」に切り替わります。

(5) 本母校収支報告における試験場校経費の端数処理について

試験場校経費の算出は、受験料合計の44%（英語検定試験は33%）に乗じた金額を、試験場校では1円未満を切り上げし、本母校では1円未満切り捨ての処理となっています。

本母校においては、この算出方法の違いにより、検定 Web システム上で本母校と試験場校における試験場校経費の金額に差異が生じ、手元の残金が少なくなります。本母校が収支決算報告書（様式4）を作成するにあたり、この差異分は Web システム上で雑費として処理をしてください。

なお、現金出納帳にはこの処理は計上せず、現金出納帳と通帳の金額は一致させてください。

(6) 合格者数報告の方法について

試験場校の「合格者数報告書」、本母校の「合格者数集計表」は、Web システムでデータの「送信」のみを行い、書類の郵送は不要といたします。これによって、押印をした原本は各校での保管書類となります。

(7) その他

受験申込の人数間違いが多く都道府県で見受けられます。試験問題が届いてから間違いに気付く試験場校もあります。校務の中でご多用とは思いますが、人数の間違いにはくれぐれもお気をつけくださるよう試験場校へのご周知をお願いいたします。

1.1 令和2年度 各種検定試験申込者数・受験者数・合格者数集計表 資料9
ご確認ください。

1.2 各種検定実施期日及び受験料の内訳について 資料10
ご確認ください。

1.3 令和3年度事業計画 資料11
ご確認ください。

令和2年1月14日

「新学習指導要領に準拠した公益財団法人全国商業高等学校協会主催の
各種検定試験等のあり方について」（答申）の検討状況

平成31年2月2日

公益財団法人全国商業高等学校協会
理事長 中山博之様

公益財団法人全国商業高等学校協会
課題検討委員会 委員長 川口 伊佐夫

「新学習指導要領に準拠した公益財団法人全国商業高等学校協会主催の
各種検定試験等のあり方について」（答申）

課題検討委員会は、平成30年1月13日に理事長より、「新学習指導要領に準拠した公益財団法人全国商業高等学校協会主催の各種検定試験等のあり方について」の諮問を受けました。このことについて本委員会において慎重に審議をし、次のような結論を得たので答申いたします。

1 審議経過

(1) 平成29年度第5回理事会（平成30年1月13日）審議事項

平成29年度第5回理事会にて、学習指導要領の改訂に対応するとともに、今後の商業教育の将来構想及び本協会が安定的かつ継続的に事業を運営するための財政等を含めた総合的な検討を行うことが決議された。

この決議に基づき、理事長から課題検討委員会に対して「新学習指導要領に準拠した公益財団法人全国商業高等学校協会主催の各種検定試験等のあり方について」を諮問された。

検討事項は以下のとおりである。

- ア 各種検定試験のあり方について
- イ 各種競技大会等のあり方について
- ウ 研究部のあり方について
- エ 商業教育研究大会・各種講習会について
- オ 商業教育の振興・普及に関する将来構想について

なお、同理事会で、課題検討委員会の下に「全商検定試験検討委員会」を設置し、検定試験並びに各種競技大会等の実施に向けての連絡・調整並びに準備作業を行うことが決議された。

(2) 課題検討委員会の審議経過

- 第1回課題検討委員会（H30.4.21） 今後のスケジュール、具体的な課題の検討等
- 第2回課題検討委員会（H30.5.26） 全商検定試験検討委員会への検討依頼事項の検討等
- 第3回課題検討委員会（H30.6.23） 全商検定試験検討委員会への検討依頼事項の検討等
- 第4回課題検討委員会（H30.7.21） 各種検定試験・各種競技大会等のあり方の検討並びに「新学習指導要領と全商検定試験のあり方協議会」の開催
- 第5回課題検討委員会（H30.8.25） 各種競技大会・研究部のあり方の検討
- 第6回課題検討委員会（H30.9.22） 各種競技大会・商業教育研究大会等のあり方の検討
- 第7回課題検討委員会（H30.10.27） 各種競技大会・商業教育研究大会等のあり方の検討
- 同日「平成30年度第2回実務検定連絡協議会」を開催し、検討過程を各研究部に周知
- 第8回課題検討委員会（H30.11.17） 課題検討委員会答申素案の検討
- 第9回課題検討委員会（H30.12.8） 課題検討委員会答申最終案の検討
- 第10回課題検討委員会（H31.1.19） 理事会に提出する課題検討委員会答申の確認

2 各種検定試験のあり方について

(1) 目的

商業科目を学ぶ生徒等の専門知識・技能等の向上を図り、生徒一人ひとりが目標をもって勉学に励むことができるよう次の3点を趣旨として検定試験を実施する。

- ア 商業に携わる職業人として備えるべき専門知識・技能等の目標を示すことにより生徒の学習意欲を高め、商業を学ぶ生徒等の資質向上に資すること。
- イ 学習指導要領に示された商業に関する各科目の目標に関連して達成度の水準を示すことにより、商業科目における学びの質保証に資すること。
- ウ 資格取得により得られる具体的な専門知識・技能等を明示することで、全商検定試験の社会的評価の向上に資すること。

(2) 全ての検定試験に共通する決定事項

ア 全商協会主催の検定試験の名称について

検定試験の名称については、学習指導要領上の扱い並びに検定試験の社会的認知度の向上も踏まえ、必要に応じて見直し、改善していく。

【令和4年度より実施】

「珠算・電卓実務検定試験」→「ビジネス計算実務検定試験」

「会計実務検定試験」→「財務諸表分析検定試験」

「財務会計検定試験」

「管理会計検定試験」

イ 作問の考え方について

学習指導要領に示された学習の内容や学習の程度を踏まえ出題の範囲を設定し、「知識及び技術」に加え、「思考力、判断力、表現力等」を問う作問に心がけるなど、学力の3要素をバランスよく育むことを目指す。

なお、将来を見据えてマークシートの活用やC B T (Computer-based Testing) 等の導入についても継続的な検討を要す。

ウ 検定試験の各級の設定について

- ① 専門知識・技能等の習得に応じた級を設ける検定については、3級は商業を学ぶ際の入門級として位置付ける。

※ なお、現在の4級から6級については廃止する。

【令和3年度より実施】

廃止する級

「英語検定試験 4級」

「珠算・電卓実務検定試験 4～6級」

「ビジネス文書実務検定試験 4級」

- ② 複数の検定科目の合格をもって、上位級を認定する検定については、入門級（奨励級）を位置付ける。

エ 全商検定の社会的評価の向上について

企業や大学等が商業を学ぶ生徒の採用や選考する際に役立つような客観的な評価の尺度となるように、専門知識や技術・技能等の習得状況を明確に示し社会的評価の向上に資するように努める。

【令和4年度より実施】

レベル	合格率目安	検定
高度レベル	30%【10%】	各種検定試験 1級 財務諸表分析検定試験 財務会計検定試験 管理会計検定試験
応用レベル	50%【20%】	各種検定試験 2級 商業経済検定試験（ビジネス基礎以外）
基礎レベル （入門級）	80%【60%】	各種検定試験 3級 商業経済検定試験（ビジネス基礎） ビジネスコミュニケーション検定試験

※ ただし、英語検定については、1・2級が高校卒業程度認定試験「英語科目」免除要件になっていることから、【 】内の%とする。

(3) 各検定試験について

全商協会として検定試験を実施する目的及び育成すべき人材像を体系化し、各検定試験の意義・目的並びに各級が育成すべき人材像を明確に示す観点から各検定試験の改善の方向性を以下に示す。ただし、現時点で決定されていない要検討事項や実施にあたって細部の検討が必要な事項については、各研究部等と継続して検討を行う。

商業スキル分野

ア 英語検定試験 1級～3級 年2回 (9月・12月)

① 試験実施科目

「筆記試験」「リスニング」

※「聞く (listening)」「読む (reading)」「書く (writing)」の3技能
で実施。

② 学習指導要領科目対応

「ビジネス・コミュニケーション」

③ その他

○4技能「話す (speaking)」についての取扱

現状の3技能を実施していく中で、他団体の英語検定試験の動向を調査し、

「話す (speaking)」の導入について継続的な検討を要す。

【令和3年度より実施】

○4級の廃止

4級の廃止に伴い、入門級である3級の扱いを作問の難易度を考慮し、それに基づいた1級から3級まで難易度のバランスを踏まえて出題する。

○現状は3技能を継続する。

イ 珠算・電卓実務検定試験 1級～3級 年2回 (6月・11月)

① 試験実施科目

各級共に「普通計算」・「ビジネス計算」を実施。

② 学習指導要領科目対応

「ビジネス基礎」

③ その他

○「普通計算」について

現状の乗算・除算・見取算・伝票算の出題については検討を要する。

○部門合格の取扱について

生徒の学びや受験料負担の軽減等を考慮し、部門合格を継続実施する。

○珠算用のフォントではなく、社会で使用される一般的なフォントの採用について検討を行う。

【令和2年度より実施】

○新フォントで運用

【令和3年度より実施】

○4級以下の廃止

4～6級の廃止に伴い、3級の出題内容を基本的な出題とする。

○科目合格について、受験科目「普通計算」と「ビジネス計算」については、

1科目合格後の2年(4回)以内の受験で未合格の科目合格を以って1級とする。

○競技大会名称の変更

全国高等学校珠算・電卓競技大会 → 「全国高等学校ビジネス計算競技大会」

【令和4年度より実施】

○検定名変更 「ビジネス計算実務検定試験」

伝票算廃止

検定用紙A版

ウ ビジネス文書実務検定試験 1級～3級 年2回 (6～7月・11月)

① 試験実施科目

3級 : 「ビジネス文書」 「速度 (ストレートコピー)」

2級 : 「ビジネス文書」 「速度 (実務的文書入力)」

1級 : 「ビジネス文書」 「速度 (実務的文書入力)」

② 学習指導要領科目対応

「情報処理」

③ その他

○部門合格の取扱いについて

生徒の学びや受験料負担の軽減等を考慮し、部門合格を継続実施する。

【令和3年度より実施】

○4級の廃止

4級の廃止に伴い、3級の出題内容を基本的な出題とする。

【令和4年度より実施】

○1級及び2級の速度部門については、「実務に即した文書作成」へと変更する。

エ ビジネスコミュニケーション検定試験 年1回 年度の後期とする。

① 試験実施科目

「筆記試験」

② 学習指導要領科目対応

「ビジネス・コミュニケーション」

③ その他

○試験実施時期について

新学習指導要領上の新科目では基礎的な科目として位置付けられているため、1・2年生で履修できるように年度の後期に実施する。

○今後、上位級を検討する中で、面接試験の実施を検討する。

【令和4年度より実施】

面接試験の廃止

【令和4、5年度】

検定試験 年2回実施 ※同一レベルの出題

試験日 7月第2日曜日、12月第3日曜日 (午後)

【令和6年度より実施】

検定試験 年1回実施

試験日 12月第3日曜日 (午後)

マーケティング分野

ア 商業経済検定試験 年1回 (2月)

① 試験実施科目
筆記試験

② 学習指導要領科目対応

3級科目 「ビジネス基礎」 ※「ビジネス基礎」を入門級とする。

1・2級科目群 「マーケティング」「商品開発と流通」
「ビジネス・マネジメント」「ビジネス法規」

「グローバル経済」並びに「観光ビジネス」に関わる科目の試験については、
継続的に検討を行う。

③ 級の認定について

3級 「ビジネス基礎」合格者

2級 1・2級科目群の1科目合格者

1級 1・2級科目群の2科目以上合格者

【令和4年度より実施】

新科目「ビジネス基礎」実施

旧科目「ビジネス基礎」終了

【令和5年度より実施】

新科目「ビジネス・マネジメント」、「マーケティング」実施

旧科目「マーケティング」終了

※令和5年度のみ6科目実施

【令和6年度より実施】

新科目「商品開発と流通」、「ビジネス法規」実施

旧科目「経済活動と法」、「ビジネス経済A」、「ビジネス経済B」終了

会計分野

ア 簿記実務検定試験 1級～3級 年2回 (6月・1月)

① 試験実施科目

1級～3級 筆記試験

② 学習指導要領科目対応

3級 「簿記」に対応 問題の精選

2級 「簿記」(「財務会計I」)

1級 会計・原価計算 科目合格あり 4回以内

会計:「財務会計I」に対応

原価計算:「原価計算」に対応

※()は、一部を含むことを示す。
学習指導要領科目対応の()は、以下同様。

③ その他

○部門合格の取扱いについて

生徒の学びや受験料負担の軽減等を考慮し、部門合格を継続実施する。

【令和3年度より実施】

○競技大会名称の変更

全国高等学校簿記コンクール → 「全国高等学校簿記競技大会」

イ 会計実務検定試験 年1回

- ① 試験実施科目
「財務諸表分析」「財務会計」「管理会計」
- ② 学習指導要領科目対応
学習指導要領に準拠（「財務会計Ⅰ」「財務会計Ⅱ」「管理会計」）
- ③ その他
 - 受験料の取扱い
一般受験料（¥2,900）を廃止し、高校生料金（¥1,800）に統一
 - 試験実施時期について
難易度が高い検定であるので、年度の後半に実施
 - 全商協会大学特別推薦時の資格の扱い
1級として扱う（科目ごと）

【令和3年度より実施】

○受験料の取扱い

一般受験料（¥2,900）を廃止し、高校生料金（¥1,800）に統一する。

【令和4年度より実施】

○検定名変更

「財務諸表分析検定試験」「財務会計検定試験」「管理会計検定試験」

○試験日変更

試験日 12月第2日曜日

ビジネス情報分野

ア 情報処理検定試験 1級～3級 年2回（9月・1月）

① 試験実施科目

- 3級 「筆記」「実技」
- 2級 プログラミング 「筆記」
ビジネス情報 「筆記」「実技」
- 1級 プログラミング 「筆記」
ビジネス情報 「筆記」

② 学習指導要領科目対応

- 3級 「情報処理」
 - 2級 プログラミング：「プログラミング」
ビジネス情報：「ソフトウェア活用」
 - 1級 プログラミング：「プログラミング」
ビジネス情報：「ソフトウェア活用」
- }（「ネットワーク活用」）
（「ネットワーク管理」）

③ その他

プログラム言語の取扱いについては、継続的な検討を要す。

イ プログラミングコンテストについて

- ① 名称：検討「全国商業高等学校プログラミングコンテスト」
- ② 実施時期：8月末審査
- ③ その他：プログラミングコンテストの普及のため、入賞作品の公開等の検討を行う。

【令和3年度より実施】

○競技大会名称の変更

全商プログラミング・コンテスト → 「全国商業高等学校プログラミングコンテスト」
全国商業高等学校プログラミングコンテストについては、8月末の実施とし、入賞作品の公開を行う。

【令和4年度より実施】

○第3級に流れ図による「トレース」の追加

○プログラミング部門のJavaを廃止し、マクロ言語のみによる出題と問題構成の変更

(4) その他

ア 検定ニュースの内容の統一

イ 検定ポスターの統一

ウ 検定に係る関係書類集の統一

エ 検定試験・競技大会等の用紙の統一（原則A版サイズ）

【令和元年度より実施】

検定ポスターの統一

検定に係る関係書類の統一

ア 令和4年度より、各種検定ニュースを1冊として統一発行の検討中。

【令和4年度より実施】

A版用紙の統一

3 各種競技大会のあり方について

全商協会主催の競技大会並びにコンクールについては、商業を学ぶ生徒の教育活動の一環として、生徒の各分野におけるより高度な資質・能力の育成を目的として実施している。

このことから、競技内容・出場枠並びに賞の授与にあたっては、競技ごとの特性なども考慮しつつ、社会的な評価の観点から統一を図る。

(1) 競技大会の名称について

競技大会並びにコンクールの名称については、学習指導要領上の扱い並びに検定試験の社会的認知度の向上も踏まえ、必要に応じて見直し、改善していく。

【令和3年度より実施】

競技大会名称の変更

全国高等学校珠算・電卓競技大会 → 「全国高等学校ビジネス計算競技大会」
珠算の部・電卓の部（「～の部」については検討中）

全国高等学校簿記コンクール → 「全国高等学校簿記競技大会」

全商プログラミング・コンテスト → 「全国商業高等学校プログラミングコンテスト」

※全国高等学校ワープロ競技大会、全国高等学校情報処理競技大会、全国商業高等学校英語スピーチコンテスト、全国高等学校生徒商業研究発表大会については変更しない。

(2) 競技大会の運営等について《原則》

ア 開催日について《原則》

原則として土曜日または日曜日開催とする。

イ 出場枠について

団体 : 各都道府県1校 **3名** 計47校

個人 : 各都道府県2名 (団体出場校と兼ねられない)

※生徒商業研究発表大会 ブロック代表2校

英語スピーチコンテスト 部門ごとに各都道府県代表1名

個人競技エントリー : 各都道府県団体出場選手並びに個人出場選手各都道府県2名

補欠の扱い《原則》 : 団体代表校には、原則として1名の補欠登録者を認め、

選手登録した生徒が出場できない場合は、その補欠登録者のみが出場できることとする。

【令和3年度より実施】

○出場枠について

全国高等学校生徒商業研究発表大会について

- ・発表者数は、ブロック代表1校につき10名までとする。
- ・首都圏開催への移行に伴い、開催都道府県からの出場枠(1校)を減らす。ただし、令和4年度島根大会、令和6年度北海道大会は、移行措置として、開催道県に出場枠(1校)を付与する。
- ・ブロック代表は原則2校とする。ただし、関東ブロックと九州ブロックは、会員校数格差是正のため、ブロック代表を3校とする。
- ・関東ブロックは、ブロック構成変更の移行措置として、令和3年度大会においては旧関東ブロック・旧京神ブロックそれぞれ代表2校とすることを認める。

ウ 表彰規程について

団体 : 優勝1校 準優勝1校 第3位~10位 各1校

※ 生徒商研・プログラミングコンテストについては
最優秀賞1校又は1作品 優秀賞3校又は3作品
優良賞 5校又は5作品

※ 奨励賞 (既存の最優秀賞から優良賞以外に表彰の必要が生じた場合の賞とする。)

例 生徒商研での「テーマ賞」「プレゼン賞」など)

個人 : 優勝1名 準優勝1名 第3位1名 優良賞 7名 (4~10位)

佳良賞 20名

※ 英語スピーチコンテストについては
最優秀賞1名 優秀賞2名 優良賞3名

【令和3年度より実施】

○全国高等学校ビジネス計算競技大会の表彰規程については、優勝・準優勝・第3位までは団体は各1校、個人は各1名決定する。それ以降は、競技の特性を考慮して決定する。

○全国高等学校生徒商業研究発表大会の表彰規程については、最優秀賞1校、優秀賞3校、優良賞5校とする。前記入賞校以外の出場校には、奨励賞を授与する。

- エ 開催時期について
英語スピーチコンテスト 9月開催に向け検討（生徒の進路活動に活かすため）

【令和4年度より実施】
9月第三日曜日もしくは10月第二日曜日の開催検討中

(3) その他

- ア 競技大会作問について、専門委員の業務軽減等を考え、外部委託について継続的な検討を要す。
- イ 平成30年5月調査・広報部アンケート調査の集計結果を踏まえ、ワープロ競技大会の実施・運営について、継続的な検討を要す。

【令和3年度より実施】
賞品・賞状の統一

【令和3年度より実施】
全国高等学校ビジネス計算競技大会について

- ・種目別競技は「伝票算」を廃止し、
珠算の部では「読上算、読上暗算、応用計算」
電卓の部では「読上算、応用計算」とする。
（「～の部」については検討中）

イ 継続的に検討する。

4 研究部のあり方について

- (1) 各研究部の組織及び運営のあり方について
- ア 各研究部の連携を深めるため、年1～2回程度の副部長連絡会議の開催を検討する。
- イ 専門委員選出（委嘱）について、現在の専門委員選考規程の見直しを図り、専門委員の確保を図る。
- ウ 運営体制について、継続的な検討を要す。

【令和元年度より実施】
副部長連絡会議
作問工程検討委員会（令和2年度末まで）

【令和2年度より実施】
専門委員選考規程の見直し

5 商業教育研究大会・各種講習会について

(1) 商業教育研究大会について

新学習指導要領の実施状況を踏まえ、各分科会の分野並びに運営方法について検討を行う。

【令和4年度より実施】

- 第1分科会の分野は、マーケティング分野・マネジメント分野とする。
(マーケティング分野・ビジネス経済分野より変更)
- 第2分科会・第3分科会の分野は、現行どおりとする。
- 第4分科会の分野は、総合的科目(課題研究、総合実践等)とする。
(総合的科目(ビジネス実務、課題研究、総合実践等)より変更)

(2) 各種講習会について

講習内容等について、新学習指導要領の実施状況を踏まえ、教員の資質向上の観点から継続的な検討を要す。

6 商業教育の振興・普及に関する将来構想の検討について

(1) 全商協会財政基盤安定化の継続的な検討について

- ア 会員名簿のデジタル化
- イ 全商広報等のデジタル化
- ウ 全商業務のICT化

ア 令和4年度より、会員校への冊子配布を廃止し、CD-ROMによるデータの配布を検討中。

イ 令和4年度より、「全商広報」と「高校の商業教育」統一発行の検討中。

ウ 必要に応じたWeb会議システムの推進

【令和6年度より実施】

全商Webシステムリニューアル

その他

【令和2年度より実施】

- 検定試験問題の印刷業者見直しによる費用削減
印刷業者入札を実施
- 合格証書印刷業者の見直しによる費用削減
入札により変更

(2) 全商主催会議の精選について

ア 理事会・役員会の精選

【令和3年度より実施】

理事会については、新たに理事補佐の役職を設け、現在の理事を理事と理事補佐に分ける。
理事会への出席者については、理事のみとし、理事会のスリム化を図り、円滑な運営を行う。
役員会については、全国商業高等学校長協会規約を改訂し、本部役員を定義する。
評議員会については、評議員を各ブロックから1名とし、評議員会のスリム化を図る。
なお、ブロック代表常務理事連絡協議会を都道府県連絡理事協議会とし、意見交換の場を設ける。※理事会決定事項 評議員会での承認後確定

イ 全国教育研究協議会の効率的な運営

令和元年度に作問工程検討委員会を発足し、イについて検討中。

(3) 理事・評議員定数の削減などについて

【令和3年度実施】

○理事定数 25名 → 原則16名
○評議員 47名 → 原則9名

(4) 全国高等学校長協会地区支部に準じたブロック割りについて

- 1 北海道 2 東北 3 関東 4 北信越 5 東海 6 近畿 7 中国
8 四国 9 九州

【令和3年度より実施】

関東ブロック 茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、山梨の6県と、
京神ブロック 東京、神奈川の2都県を統合し、8都県を関東ブロックとする。

本公益財団法人には、高等学校における商業教育の振興、普及を図るため、①商業に関する調査・研究事業、②教員の資質向上に関する事業、③生徒奨励に関する事業、④商業に関する各種の検定事業、⑤商業教育の振興に関する助成事業、⑥その他この法人の目的を達成するために必要な事業をとおして、社会に貢献できる有為な人材育成を継続的に行っていく使命があります。

そのため、公益性を担保し、新学習指導要領に対応するとともに、事業を継続的に実施するための財政基盤確保を図る方策をここに答申いたします。

答申に基づいた新検定試験実施へのスケジュール

年度	2019(令和元)年度 (調整・周知期間)	2020(令和2)年度 (調整・周知期間)	2021(令和3)年度 (調整・周知期間)	2022(令和4)年度 (段階実施)	2023(令和5)年度 (段階実施)	2024(令和6)年度 (段階実施)
珠算・電卓	R3以降 4・5・6級廃止 周知 R4以降 伝票算普通計算部門から廃止 周知	R3以降 4・5・6級廃止 周知 新制度検定作問規定・模擬問題 提示	※4級以下廃止 一般受験料(会計実務検定)の廃止	新学習指導要領実施・実施時期変更		完全実施
簿記	・以降スケジュールの提示	2・3級 ・出題範囲表(案)・勘定科目表(案)提示 サンプル問題 提示	2・3級 ・出題範囲表(確定版)・勘定科目表(確定版) 1級 ・出題範囲表(案)・勘定科目表(案)提示 ・サンプル問題 提示	検定用紙A判化 実施		
ビジネス	・速度問題 検討(案) 提示 (過去問題を使用した問題形式で) ⇒全国から意見集約	・全国からの意見集約を元に新検定(案) ⇒さらに意見集約 ・新指引(案) 提示	・見本問題 提示 ・新指引 発行(R3年度3月)	・新速度問題 開始 ※新指引の内容で出題		
英語	以下2点の周知 ・R3以降 4級廃止に伴った1～3級の難易度の変更はなし。 ・学習指導要領改定に伴った難易度の変更もなし。					
情報処理	出題範囲(案) 提示	出題範囲の決定		新出題範囲により出題開始		
商業経済	移行スケジュール周知		・新「ビジネス基礎」出題基準公開	・新「ビジネス基礎」実施 ・新「マーケティング」出題基準公開 ・「ビジネスマネジメント」出題基準公開	・新「マーケティング」実施 ・「ビジネスマネジメント」実施 ・「商品開発と流通」出題基準公開 ・「ビジネス法規」出題基準公開	
会計	一般受験料の廃止 周知 検定名の変更 周知	1,2級科目の試験時間改定 周知		1,2級科目の試験時間改定 ・「財務諸表分析検定試験」 ・「財務会計検定試験」 ・「管理会計検定試験」		
ビジネス	以下2点の周知 ・R4とR5 年2回実施(7月第2日曜日、12月第3日曜日午後) ・R4以降 年1回実施(12月第3日曜日午後) 周知	実施時期の変更(12月第2日曜日) 周知		12月第2日曜日実施 ・年2回実施(7月第2日曜日、12月第3日曜日午後) ・面接試験の廃止	・年2回実施(7月第2日曜日、12月第3日曜日午後) ・年1回実施(12月第3日曜日午後)	
		試験時間の改定 周知		試験時間の改定		

令和 4 年度以降の三種目以上 1 級合格者表彰規程の変更について

令和 4 年度より会計実務検定試験の検定名が変更されることに伴い、三種目以上 1 級合格者表彰規程の一部を改定する。現行の三種目以上 1 級合格者表彰規程では、会計実務検定試験の 3 科目のうち 2 科目の合格で 1 種目合格と扱っている。令和 4 年度より「財務諸表分析検定試験」「財務会計検定試験」「管理会計検定試験」のうちいずれか一つ以上の検定取得で 1 種目と扱うこととする。

1 主な変更点

改定案		現行	
試験種目 全商協会主催の下記検定試験に限る。		試験種目 全商協会主催の下記検定試験に限る。	
1	珠算・電卓実務検定試験 1 級 (計算用具 そろばん)	1	珠算・電卓実務検定試験 1 級 (計算用具 そろばん)
2	珠算・電卓実務検定試験 1 級 (計算用具 電卓)	2	珠算・電卓実務検定試験 1 級 (計算用具 電卓)
3	簿記実務検定試験 1 級	3	簿記実務検定試験 1 級
4	ビジネス文書実務検定試験 1 級	4	ビジネス文書実務検定試験 1 級
5	英語検定試験 1 級	5	英語検定試験 1 級
6	情報処理検定試験 1 級 (プログラミング部門)	6	情報処理検定試験 1 級 (プログラミング部門)
7	情報処理検定試験 1 級 (ビジネス情報部門)	7	情報処理検定試験 1 級 (ビジネス情報部門)
8	商業経済検定試験 1 級	8	商業経済検定試験 1 級
9	財務諸表分析検定試験 財務会計検定試験 管理会計検定試験 のうち 1 種目以上	9	会計実務検定試験 (財務諸表分析・財務会計・管理会計の うち 2 科目)
※令和 3 年度までの旧会計実務検定試験については、従来通り 2 科目を取得して 1 種目合格として扱う。			

2 移行スケジュール

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
会計実務検定試験		検定名変更 ・財務諸表分析検定試験 ・財務会計検定試験 ・管理会計検定試験	以降継続
三種目以上 1 級合格者表彰規程	財務諸表分析・財務会計・管理会計のうち、2 科目を取得して 1 種目合格として扱う。	規定変更 ・財務諸表分析検定試験 ・財務会計検定試験 ・管理会計検定試験 上記のうちいずれか 1 つ以上の検定取得で 1 種目として扱う。 また、令和 3 年度までの旧会計実務検定試験については、従来通り 2 科目を取得して 1 種目合格として扱う。	以降継続

珠算・電卓実務検定試験規則

(昭和56年4月, 平成9年4月, 13年1月, 14年5月, 26年2月, 27年2月, 令和2年11月改定)

- 第1条 公益財団法人全国商業高等学校協会は、珠算および電子卓上計算機（電卓と略称）による計算事務の能力を検定する。
- 第2条 検定は筆記試験によって行う。
- 第3条 検定は第1級、第2級および第3級~~および第4級・第5級・第6級の3-6種~~とし、~~それぞれに普通計算部門およびビジネス計算部門を設ける。~~
- 第4条 検定試験は全国一斉に同一問題で実施する。
- 第5条 検定試験は年2回実施する。
- 第6条 検定試験の出題範囲および答案の記入については別に定める。
- 第7条 ~~第1級、第2級および第3級は普通計算部門およびビジネス計算部門とも100点満点とし、各70点以上をもって当該部門の合格とする。両部門の合格をもって級の合格とする。第4級、第5級および第6級は同一問題で450点満点とし、次の得点を各級の合格とする。4級……350点以上——5級……300点以上——6級……250点以上~~
- 第8条 検定に合格した者には、合格証書を授与する。~~第1級、第2級および第3級においては、~~各部門のうちいずれかの部門が70点以上を得たとき、その部門の合格証書を授与する。部門合格証書を有する者が、取得してから4回以内に実施される検定において、不足の部門について70点以上を得たときは、当該の級の合格と認め、合格証書を授与する。
- 第9条 前条による合格証書は、次の様式とする。

様 式	様 式
<p>第 号 合格証書</p> <p>第 級 (普通計算の 計算用具)</p> <p style="text-align: right;">氏名</p> <p style="text-align: right;">年 月 日生</p> <p>本協会主催文部科学省後援第 回 珠算・電卓実務検定試験において 頭書の級に合格したことを証します</p> <p>令和 年 月 日 公益財団法人全国商業高等学校協会 理事長 氏 名 ㊤</p>	<p>第 号 合格証書</p> <p>第 級 部門名 (普通計算の 計算用具)</p> <p style="text-align: right;">氏名</p> <p style="text-align: right;">年 月 日生</p> <p>本協会主催文部科学省後援第 回 珠算・電卓実務検定試験において 頭書の級の部門に合格したことを 証します</p> <p>令和 年 月 日 公益財団法人全国商業高等学校協会 理事長 氏 名 ㊤</p>

- 第10条 検定試験受験志願者は、所定の受験願書に受験料を添えて本協会に提出しなければならない。
- 第11条 試験委員は高等学校その他の関係職員がこれに当たる。

珠算・電卓実務検定試験施行細則

- 第1条 受験票は本協会で作成する。受験票は試験当日持参しなければならない。
- 第2条 試験規則第5条による試験日は、毎年6月の第3日曜日および11月の第2日曜日とする。
- 第3条 各級の制限時間は次のように定める。
第1級、第2級、第3級……各部門30分
~~第4・5・6級……30分~~
- 第4条 受験料は次のように定める。(消費税を含む)
第1級 1部門につき 1,000円 ~~第4・5・6級—900円~~
第2級 1部門につき 1,000円
第3級 1部門につき 1,000円
- 第5条 ~~第1級、第2級および第3級の~~普通計算部門の受験に際しては、申込時に計算用具を「そろばん」か「電卓」のいずれかを申請する。ただし、ビジネス計算部門についてはどちらを使用してもよい。~~第4・5・6級は「そろばん」のみとする。~~
- 第6条 ~~3級以上の~~普通計算部門については、同一級を「珠算」と「電卓」で同時に受験することはできない。
- 第7条 ~~3級以上において、~~「珠算」および「電卓」の普通計算部門ならびにビジネス計算部門の両部門に合格すれば、当該級の「珠算」と「電卓」の両方の合格とする。
- 第8条 試験会場では試験委員の指示に従わなければならない。
- 第9条 合格発表は試験施行後1か月以内に行う。その日時は試験当日までに発表する。

部門合格の有効期限について

試験規則第8条の部門合格の有効期限について、下記の対応表のとおりとする。

検定試験実施日と有効期限対応表

部門合格した検定試験	部門合格の有効期限
第137回(平成30年11月11日)	第142回(令和3年6月実施)
第138回(令和元年6月16日)	第143回(令和3年11月実施)
第139回(令和元年11月10日)	第144回(令和4年6月実施)
第140回(令和2年6月21日)	第145回(令和4年11月実施)
第141回(令和2年11月8日)	第146回(令和5年6月実施)
第142回(令和3年6月20日)	第146回(令和5年6月実施)
第143回(令和3年11月14日)	第147回(令和5年11月実施)

答案の記入について

- ~~1・2・3級の~~普通計算部門のうち、乗算・除算で答えに円、セント未満の端数が生じた場合は、4捨5入すること。
- ビジネス計算部門において答えに端数が生じた場合は、指示の条件に従って処理すること。
- 答えには1題ごとに「~~≠~~」「\$」「€」「£」のような名数の記号を記入すること。
- 答えの整数部分には3けたごとに「,」をつけること。
- 答えの訂正には消しゴムを使用してもよい。ただし、消しゴムを使用しない場合は記号および全数字を横線で消して書きなおすこと。この場合の1字訂正は認めない。

ビジネス文書実務検定試験 試験規則

(平成8年4月、11年4月、13年1月、14年5月、17年1月、19年4月、25年4月、26年2月、27年2月、28年2月、29年2月改定、**令和2年11月改定**)

第1条 公益財団法人全国商業高等学校協会は、ビジネス文書に関する知識・技能を検定する。

第2条 検定は筆記試験・実技試験によって行う。

第3条 検定試験は年2回実施する。

第4条 検定は第1級、第2級、第3級**および第4級の3-4種**とする。

第5条 検定試験は全国一斉に同一問題で実施する。

第6条 検定はビジネス文書部門と速度部門の部門別とし、各部門の制限時間・内容は次のとおりとする。

部 門		制限時間	内 容
ビジネス 文書部門	筆 記	各級とも15分 (第4級には課さない)	機械・文書に関する知識 機械・機械操作、文書の種類、文書の作成、 文書の受発信 プレゼンテーション ことばの知識 漢字・熟語
	実 技	第1級は20分 第2級～第 3-4 級は15分 印刷は時間外	第1級は表やオブジェクト及びテキストファイルを含む文書 第2級は表やオブジェクトを含む文書 第3級は簡単な表を含むビジネス文書 第4級はビジネス文書
速度部門	実 技	各級とも10分 印刷は時間外	問題は全級とも活字

第7条 検定に合格するためには、各部門とも次の成績を得なければならない。

合格基準は次のとおりとし、ビジネス文書部門及び速度部門のどちらも合格基準を満たしたものを、当該級の合格とする。

部門別の合格証書を有する者が、取得してから4回以内の検定において、不足の部門に合格したときは、当該級の合格とする。

部 門		合格基準	
ビジネス 文書部門	筆 記	第1級～第3級とも100点満点で、70点以上	筆記・実技、両方 同一回に取得で部門 合格とする。
	実 技	第1級～第 3-4 級とも100点満点で、70点以上	
速度部門 (10分間の純字数)	実 技	第1級 第2級 第3級 第4級	700字以上 450字以上 300字以上 200字以上

第8条 検定に合格した者には、合格証書を授与する。

合格証書は各級の合格証書・ビジネス文書部門合格証書・速度部門合格証書とし、授与の詳細については別に定める。

第9条 合格証書は、次の様式による。

様式

様式

第 号	合格証書
第 級	
氏名	
	年 月 日生
本協会主催文部科学省後援 回 ビジネス文書実務検定試験において 頭書の級に合格したことを証します	
	令和 年 月 日
公益財団法人全国商業高等学校協会 理事長 氏 名㊞	

第 号	合格証書
第 級	
部門	
氏名	
	年 月 日生
本協会主催文部科学省後援 回 ビジネス文書実務検定試験において 頭書の部門に合格したことを証します	
	令和 年 月 日
公益財団法人全国商業高等学校協会 理事長 氏 名㊞	

第10条 検定試験受験志願者は、所定の受験願書に受験料を添えて本協会に提出しなければならない。

第11条 試験委員は、高等学校その他の関係職員がこれに当たる。

ビジネス文書実務検定施行細則

第1条 受験票は本協会で作成する。受験票は試験当日持参しなければならない。

第2条 試験規則第5条による試験日は、毎年6月の第5日曜日(ただし、6月の第5日曜日がない場合は7月の第1日曜日)および11月の第4日曜日とする。

第3条 受験料は次のように定める。(消費税を含む)

ビジネス文書部門	速度部門
第1級 1,200円	各級 800円
第2級 1,100円	
第3級 900円	
第4級 700円	

第4条 試験規則第8条による合格証書授与の詳細を次のように定める。

- ① ビジネス文書部門・速度部門の同位級に同時合格した場合は、当該級の合格証書を授与し、各部門の合格証書は授与しない。
- ② ビジネス文書部門・速度部門のどちらか一部門にのみ合格し、過去4回以内の検定試験で他部門の同位級に合格している場合は、本人の申請に基づき当該級の合格証書を授与し、部門合格証書は授与しない。
- ③ ビジネス文書部門・速度部門のどちらか一部門にのみ合格し、過去4回以内の検定試験で他部門に合格していない場合は、部門合格証書を授与する。

第5条 機械は、試験場校で用意するものか、受験者が持ち込んだものを使用する。ただし、機械の持ち込みを希望する者は、試験場校の指示に従い試験の前日もしくは当日に搬入する。

第6条 試験会場では試験委員の指示に従わなければならない。

第7条 合格発表は試験施行後1か月以内に行う。その日時は試験当日までに発表する。

英語検定試験規則

(昭和49年5月、50年5月、54年5月、55年7月、平成4年5月、5年5月、13年1月、14年5月、21年2月、26年2月、27年2月、28年5月、令和2年11月改定)

- 第1条 公益財団法人全国商業高等学校協会は、英語の知識および技能を検定する。
- 第2条 検定は筆記試験によって行う。
- 第3条 検定は第1級、第2級、**および第3級および第4級の3種**とする。
- 第4条 検定試験は全国一斉に同一問題で実施する。
- 第5条 検定試験は年2回実施する。
- 第6条 検定試験の出題範囲は別に定める。
- 第7条 各級とも100点満点とし、第1級は70点以上、第2、3、~~4~~級は60点以上の成績を得たものを合格とする。
- 第8条 検定に合格した者には合格証書を授与する。
- 第9条 前条による合格証書は、次の様式とする。

様式

CERTIFICATE
The date No. _____
This is to certify that _____ _____ has successfully passed the _____ Level English Proficiency Test conducted by the National Association of Commercial High Schools.
President The National Association of Commercial High Schools
英語検定試験
合格証書
以上の者は本協会主催の英語検定試験（第○級）において規定の得点に合格したと認められた。
年 月 日
公益財団法人全国商業高等学校協会
理事長 氏名 印

- 第10条 検定試験受験志願者は所定の受験票に受験料を添えて本協会に提出しなければならない。
- 第11条 試験委員は高等学校その他の関係職員がこれに当たる。

英語検定試験施行細則

- 第1条 受験票は本協会で作成する。受験票は試験当日持参しなければならない。
- 第2条 試験規則第5条による試験日は、毎年9月の第2日曜日（ただし、第2日曜日が13日以降の場合は第1日曜日）および12月の第3日曜日とする。
- 第3条 検定は各級とも100点満点とし、制限時間は第1級は90分、第2級は80分、第3級は60分、~~第4級は60分~~とする。
- 第4条 受験料は次のように定める。（消費税を含む）
第1級・第2級 1,300円
第3級~~・第4級~~ 1,200円
- 第5条 検定試験規則第6条による各級の程度、領域および内容は次のとおりとする。
試験は学習指導要領に準拠し現代の標準英語につき、読む、書く、ならびに聞く・話す、の3領域にわたり行う。
- 読むことについて
- 第1級 ビジネス英語を含む高度の文の内容を理解することができる。
第2級 200語程度よりなるやや高度の文の内容を理解することができる。
第3級 150語程度よりなるややすんだ文の内容を理解することができる。
~~第4級 100語程度よりなる平易な文を理解することができる。~~
- 書くことについて
- 第1級 高度の語句およびビジネス英語を含むやや長い文などが正しく書ける。
第2級 やや高度の語句および文が正しく書ける。
第3級 ややすんだ基礎的な語句および文が正しく書ける。
~~第4級 基礎的な語句および文が正しく書ける。~~
- 聞く・話すことについて
- 第1級 やや長い対話文などを聞いて、内容を理解し、質問に答えることができる。
会話のやりとりができる。
第2級 平易な対話文などを聞いて、大意を理解し、簡単な質問に答えることができる。
簡単な会話のやりとりができる。
第3級 ややすんだ文を聞きとったり、言い表したりすることができる。
~~第4級 やさしい文を聞きとったり、言い表したりすることができる。~~
- 以上各領域における程度はおおよそ次の通りである。
- 第1級 高3 第2級 高2、高3
第3級 高1、高2 ~~第4級 中3、高1~~
- 第6条 語いの範囲は英語検定単語級別語い表に定める。
(~~第4級1,000語~~、第3級2,600語、第2級2,150語、第1級2,650語)
- 第7条 試験会場では試験委員の指示に従わなければならない。
- 第8条 合格発表は試験施行後1か月以内に行う。その日時は試験当日までに発表する。

会計実務検定試験規則

(平成20年5月、21年2月、26年2月、27年2月、令和2年11月改定)

- 第1条 公益財団法人全国商業高等学校協会は、会計実務の能力を検定する。
第2条 検定は筆記試験によって行う。
第3条 検定は「財務諸表分析」「財務会計」「管理会計」の3科目とする。
第4条 検定試験は全国一斉に同一問題で実施する。
第5条 検定試験は年1回実施する。
第6条 検定試験の出題範囲は別に定める。
第7条 各科目とも100点満点とし、検定に合格するためには、70点以上の成績を得なければならない。
第8条 検定に合格した者には、科目ごとに合格証書を授与する。
第9条 前条による合格証書は、次の様式とする。

様式

第 号
合格証書
科目
氏名
年月日生
本協会主催文部科学省後援第 回 会計実務検定試験において頭書の 科目に合格したことを証します
年月日
公益財団法人全国商業高等学校協会 理事長 氏 名 ㊟

- 第10条 検定試験受験志願者は所定の受験票に受験料を添えて本協会に提出しなければならない。
第11条 試験委員は高等学校その他の関係職員がこれに当たる。

会計実務検定試験施行細則

- 第1条 受験票は本協会で作成し、試験当日持参しなければならない。
第2条 試験規則第5条による試験日は、毎年10月の第4日曜日とする。
第3条 各科目の試験時間は90分とする。
第4条 受験料は1科目 1,800円とする。(消費税を含む)
~~受験料は次のように定める。(消費税を含む)~~
~~1科目について高校生は1,800円、一般は2,900円とする。~~
第5条 試験会場では試験委員の指示に従わなければならない。
第6条 合格発表は試験施行後1か月以内に行う。その日時は試験当日までに発表する。

公益財団法人全国商業高等学校協会主催

商業経済検定試験規則

(平成6年5月、7年5月、8年5月、11年5月、13年5月、14年5月、26年2月、27年2月、令和2年11月改定)

- 第1条 公益財団法人全国商業高等学校協会は、商業経済に関する知識および能力を検定する。
- 第2条 検定は筆記試験によって行う。
- 第3条 検定第1級、第2級および第3級の3種とし、検定を行う科目は「ビジネス基礎」「マーケティング」「経済活動と法」「ビジネス経済A」「ビジネス経済B」とする。
 - 第1級 「マーケティング」「経済活動と法」「ビジネス経済A」「ビジネス経済B」のうちいずれか2科目に合格した場合
 - 第2級 「マーケティング」「経済活動と法」「ビジネス経済A」「ビジネス経済B」のうちいずれか1科目に合格した場合
 - 第3級 「ビジネス基礎」に合格した場合
 ただし、第1級および第2級の科目は第3級の内容を基礎としたものである。
 なお、第2級の合格者が第1級を受験する場合、2科目のうち1科目は第2級の合格科目を充てることができる。この措置は第2級合格の年に次ぐ2年以内とし、本人の申請による。
- 第4条 検定試験は全国一斉に同一問題で実施する。
- 第5条 検定試験は年1回実施する。
- 第6条 検定試験の出題範囲は別に定める。
- 第7条 検定に合格するには、第1級、第2級および第3級とも100点満点とし、70点以上の成績を得なければならない。
- 第8条 検定に合格した者には合格証書を授与する。また合証証書には科目名を付するものとする。
- 第9条 前条による合格証書は、次の様式とする。

様 式

第 号
合 格 証 書
第 級
____ 氏名
____ 年 月 日生
本協会主催文部科学省後援第 回 商業経済検定試験において頭書の 級に合格したことを証します
年 月 日
公益財団法人全国商業高等学校協会
理事長 氏 名 ㊟

- 第10条 検定試験受験志願者は所定の受験票に受験料を添えて本協会に提出しなければならない。
- 第11条 試験委員は高等学校その他の関係職員がこれに当たる。

商業経済検定試験施行細則 (案)

- 第1条 受験票は本協会で作成する。受験票は当日持参しなければならない。
- 第2条 試験規則第5条による試験日は、毎年2月第1日曜日とする。
- 第3条 各級の制限時間は次のように定める。
第1級、第2級は1科目 ~~60~~ 50分とし、第3級は40分とする。
- 第4条 受験料は次のように定める。(消費税を含む)
1科目 1,030円
- 第5条 試験会場では試験委員の指示に従わなければならない。
- 第6条 合格発表は試験施行後1か月以内に行う。その日時は試験当日までに発表する。
- 第7条 検定試験規則第6条による出題範囲は、文部科学省高等学校学習指導要領に準拠する。

※施行細則第3条の変更については、令和4年度の検定から施行する。

ビジネスコミュニケーション検定試験規則・施行細則の一部改定について

ビジネスコミュニケーション検定試験の試験規則・施行細則について、以下のとおり改定する。

- 1 改定日 令和2年11月
- 2 施行日 令和4年4月
- 3 改定点 以下(抜粋)

改定案	現 行										
(平成25年2月、平成26年2月、平成27年2月改正、 令和2年11月改定)	(平成25年2月、平成26年2月、平成27年2月改正)										
検定試験規則	検定試験規則										
第2条 検定は筆記試験によって行う。	第2条 検定は筆記試験および面接試験によって行う。										
第3条 検定は1種類とし、級の区別は設けない。	第3条 検定は1種とする。										
第7条 検定に合格するためには、次の成績を得なければならない。	第7条 検定に合格するためには、次の成績を得なければならない。										
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">試験名</th> <th style="text-align: center;">合格基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">筆記試験</td> <td style="text-align: center;">100点満点で、70点以上</td> </tr> </tbody> </table>	試験名	合格基準	筆記試験	100点満点で、70点以上	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">試験名</th> <th style="text-align: center;">合格基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">筆記試験</td> <td style="text-align: center;">100点満点で、70点以上</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">面接試験</td> <td style="text-align: center;">A(優れている)、B(普通)、C(劣っている)の総合評価で、B以上</td> </tr> </tbody> </table>	試験名	合格基準	筆記試験	100点満点で、70点以上	面接試験	A(優れている)、B(普通)、C(劣っている)の総合評価で、B以上
試験名	合格基準										
筆記試験	100点満点で、70点以上										
試験名	合格基準										
筆記試験	100点満点で、70点以上										
面接試験	A(優れている)、B(普通)、C(劣っている)の総合評価で、B以上										
検定試験施行細則	検定試験施行細則										
第2条 検定試験規則第5条による試験日は、毎年12月の第3日曜日とする。	第2条 検定試験規則第5条による試験日は、毎年7月の第2日曜日とする。										
第4条 受験料は1,300円とする。(消費税を含む)	第4条 面接試験は試験委員2人、受験者6人程度の集団面接形式とし、一人あたりの面接時間は1分30秒とする。										
第5条 試験会場では試験委員の指示に従わなければならない。	第5条 受験料は1,300円とする。(消費税を含む)										
第6条 合格発表は試験施行後1か月以内に行う。その日時は試験当日までに発表する。	第6条 試験会場では試験委員の指示に従わなければならない。										
	第7条 合格発表は試験施行後1か月以内に行う。その日時は試験当日までに発表する。										

4 改定理由

平成31年2月2日の課題検討委員会答申において示された、令和4年度からの面接試験の廃止と試験日の変更による。

令和4年度からのビジネスコミュニケーション検定試験時間の改定について

ビジネスコミュニケーション検定試験の試験時間について、以下のとおり改定する。

- 1 改定日 令和2年11月
- 2 施行日 令和4年4月
- 3 改定点 以下

改定案	現 行
令和4、5年度 年2回実施	令和3年度まで 年1回実施
試験日 7月第2日曜日	試験日 7月第2日曜日
試験時間 午前9時00分から午前9時40分まで	筆記試験 午前10時00分から午前10時40分まで
	面接試験 筆記試験の前後に実施します。
試験日 12月第3日曜日(午後)	(午前9時00分より各試験場校の実情に合わせて開始可)
試験時間 午後1時30分から午後2時10分まで	
令和6年度より年1回実施	
試験日 12月第3日曜日(午後)	
試験時間 午後1時30分から午後2時10分まで	

4 改定理由

平成31年2月2日の課題検討委員会答申において示された、令和4年度からの面接試験の廃止と試験日の変更による。7月検定については、現行の試験時間 午前10時から午前10時40分までを1時間繰り上げ、午前9時から午前9時40分までとする。また、新たに実施する12月検定については、同日実施の英語検定試験終了後の午後1時30分から午後2時10分までとする。

令和3年2月15日

都道府県連絡理事校 校長 様

全国商業高等学校長協会
公益財団法人全国商業高等学校協会
理事長 林 修
(公印省略)

新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う令和3年度各種事業について

平素より本協会の諸事業にご支援・ご協力を賜り誠にありがとうございます。
さて、標記の件につきまして、第5回理事会・第6回本部役員会で協議の結果、令和3年度各種事業を下記のとおりに決定いたしました。

新型コロナウイルス感染症拡大が懸念される状況下ではありますが、商業高校生の教育活動を推進・支援していくために、適切な感染症対策の上での実施に向け、準備をいたしております。

つきましては、関係各位への周知にご協力をいただきますようお願い申し上げます。

なお、本文書については、本協会ホームページよりダウンロードすることができます。

記

1 令和3年度の商業教育講習会

【中止予定】

商業教育講習会（ビジネス経済に関する講義と実習）（7月27日～28日 全商会館）

理由：複数の外部講師を招く講義と、外部実習の実施が困難な状況にあり、
教員免許状更新には影響のない講習会の為。

【インターネット開催予定の諸事業】※同時双方型（テレビ会議方式）を利用した講習

商業教育講習会（情報スキルを伸ばす講義 7月27日～29日）

（会計実務に関する講義 7月28日～30日）

（第57回実用英語セミナー 8月11日～13日）

（Javaプログラミング講座 12月4日～5日）

2 令和3年度各種全国競技大会

令和3年度開催予定の各種大会については、会場によっては不特定多数の一般利用者もいる状況があり、さらに新型コロナウイルス感染症の収束予測が難しい中において、参加生徒及び生徒保護者に対し安全を保障するという観点から、最大限の予防策を講じ、参加者を必要最低限に限定し、競技のみの実施を最優先とし、下記内容で大会運営を行う。

(1) 全ての全国競技大会についての制限

- ・応援生徒及び見学者の参加は不可とし、会場への来場も禁止とする。
- ・競技会場内への選手および運営委員以外の立ち入りを禁止とする。
- ・引率教員の参加については、1校あたり最大で2名までとする。

(2) 競技ごとの運営方法

①第37回全国高等学校簿記競技大会 (7月18日 兵庫 関西学院大学)

第33回全国高等学校情報処理競技大会 (7月25日 広島 広島市立大学)

第68回全国高等学校ワープロ競技大会 (8月4日 愛知 名古屋市中小企業振興会館)

昼食は無しとし、競技終了後、参加校は解散とする。

閉会式は会場では行わず、大会結果についてはホームページ上での発表とする。

賞状・賞品については、後日郵送する。

②第68回全国高等学校ビジネス計算競技大会 (7月28日 福島 ビッグパレットふくしま)

競技の特性上、希望者へ昼食の提供を行うが、感染症対策を講じた上での提供及び喫食とする。

閉会式は会場では行わず、大会結果についてはホームページ上での発表とする。

賞状・賞品については、後日郵送する。

③第29回全国高等学校生徒商業研究発表大会 (11月24日～25日 東京 タワーホール船堀)

発表の特性上、希望者へ昼食の提供を行うが、感染症対策を講じた上での提供及び喫食とする。

閉会式は会場で時間を短縮して実施をするが、成績発表のみとし、賞状・賞品の授与は行わない。

また、賞状・賞品及び審査委員による審査講評は後日郵送とする。

④第38回全国商業高等学校英語スピーチコンテスト (令和4年1月9日 東京 全商会館)

午前の発表をレシテーション部門、午後の発表をスピーチ部門とした入れ替え制での開催とする。

昼食は無しとし、発表終了後、参加校は解散とする。

閉会式は会場では行わず、大会結果についてはホームページ上での発表とする。

賞状・賞品については、後日郵送する。

- 3 今後の状況次第では、やむを得ず予定を変更する場合があります。その際は速やかにご連絡いたします。

【連絡先】

全国商業高等学校長協会
公益財団法人全国商業高等学校協会
〒160-0015 東京都新宿区大京町26番地
TEL 03-3357-7911 FAX 03-3341-1039
担当 佐藤あけみ・田島 香奈枝

令和3年度以降の各種競技大会賞品の統一について

平成31年2月2日付「新学習指導要領に準拠した公益財団法人全国商業高等学校協会主催の各種検定試験のあり方について」(答申)にて明示された令和3年度以降の各種競技大会の賞品の統一について、以下のように統一いたします。

令和元年度 競技大会 賞品一覧(各校)

団 体 (旧)			珠算	電卓	簿記	ワープロ	情報処理	生徒商研	プロコン
			個数						
(持ち回り)	杯	文部科学大臣賞(優勝)	1	1	1	/	1	1	/
		全商協会表彰(優勝)	1	1	1	1	1	1	/
	優勝旗	文部科学大臣賞(優勝)	/	/	/	1	/	/	/
		全商協会表彰(優勝)	/	/	/	1	1	1	/
(渡しきり)	トロフィー	優勝	1	1	1	1	1	/	/
		準優勝	1	1	1	1	1	/	/
		第3位	1	1	1	1	1	/	/
		第4位~10位	各1	各1	各1	各1	各1	/	/
		佳良賞	7	4	7	7	/	/	/
		努力賞	/	/	/	/	/	/	/
	メダル	優勝	3	3	3	5	4	/	/
		準優勝	3	3	3	5	4	/	/
		第3位	3	3	3	5	4	/	/
		第4位~10位	各3	各3	各3	各5	/	/	/
	楯	最優秀賞	/	/	/	/	/	3	トロフィー-1 副賞カード ¥10,000
		優秀賞	/	/	/	/	/	3	トロフィー-3 副賞カード ¥8,000
		優良賞	/	/	/	/	/	17	5 ¥5,000
		産振中央会賞	/	/	/	/	/	1	/
		努力賞	/	/	/	/	/	5	¥3,000
	(レプリカ)	杯	文部科学大臣賞(優勝)	/	/	/	/	/	1
優勝旗		全商協会表彰(優勝)	1	1	1	1	1	/	
参加記念品			参加者全員	参加者全員	5	5	最大4	参加者全員	参加者全員



令和3年度~ 競技大会 賞品一覧(各校)

団 体 (新)			珠算	電卓	簿記	ワープロ	情報処理	生徒商研	プロコン
			個数						
(持ち回り)	杯	文部科学大臣賞(優勝)	1	1	1	1	1	1	/
		全商協会表彰(優勝)	1	1	1	1	1	1	/
	優勝旗	文部科学大臣賞(優勝)	/	/	/	/	/	/	/
		全商協会表彰(優勝)	/	/	/	1	1	1	/
(渡しきり)	トロフィー	優勝	1	1	1	1	1	/	/
		準優勝	1	1	1	1	1	/	/
		第3位	1	1	1	1	1	/	/
		第4位~10位(珠電は等位)	各1	各1	各1	各1	各1	/	/
		佳良賞	/	/	/	/	/	/	/
		努力賞	/	/	/	/	/	/	/
	メダル	優勝	3	3	3	3	3	3	最優秀賞1 最大10
		準優勝	3	3	3	3	3	3	優秀賞3 最大30
		第3位	3	3	3	3	3	3	優良賞5 最大50
		第4位~10位	各3	各3	各3	各3	各3	/	/
楯	最優秀賞	/	/	/	/	/	1	/	
	優秀賞	/	/	/	/	/	3	/	
	優良賞	/	/	/	/	/	5	/	
	奨励賞	/	/	/	/	/	最大12	5	
	産振中央会賞	/	/	/	/	/	1	/	
	努力賞	/	/	/	/	/	/	/	
(レプリカ)	杯	文部科学大臣賞(優勝)	/	/	/	/	/	/	
	優勝旗	全商協会表彰(優勝)	/	/	/	/	/	/	
参加記念品(補欠含)			4	4	4	4	4	参加者全員	参加者全員

令和元年度 競技大会 賞品一覧

個人 (旧)			珠算	電卓	簿記	ワープロ	情報処理	英スピ
			個数					
(持ち回り)	杯	全商協会表彰(最優秀賞)	/	/	/	/	/	1
		全商協会表彰(優秀賞)	/	/	/	/	/	2
(渡しきり)	杯	文部科学大臣賞(優勝)	1	1	1	1	1	/
		最優秀賞	1	1	1	/	/	1
		優秀賞	7	5	10	/	/	2
		優良賞(奨励賞)	15	10	20	/	/	3
	楯	優勝	/	/	/	1	1	/
		準優勝	/	/	/	1	1	/
		第3位~5位	/	/	/	各3	各1	/
		第6位~10位	/	/	/	/	各1	/
		佳良賞(優良賞・奨励賞)	/	/	30	10	30	3
	メダル	ファイナリスト	/	/	/	/	/	スピ12 レシ12
(レプリカ)	杯	全商協会表彰(優勝)	/	/	/	/	/	1
		参加記念品	各1	各1	各1	各1	各1	

その他表彰・・・種目別表彰(珠電・トロフィー)、満点賞(珠電・トロフィー)、正確賞(ワープロ・時計)、会計士・税理士表彰(簿記・楯)



令和3年度～ 競技大会 賞品一覧

個人 (新)			珠算	電卓	簿記	ワープロ	情報処理	英スピ
			個数					
(持ち回り)	杯	全商協会表彰(最優秀賞)	/	/	/	/	/	/
		全商協会表彰(優秀賞)	/	/	/	/	/	/
(渡しきり)	杯	文部科学大臣賞(優勝)	1	1	1	1	1	1
		最優秀賞	/	/	/	/	/	1
		優秀賞	/	/	/	/	/	2
		優良賞	/	/	/	/	/	3
		優勝	1	1	1	1	1	/
		準優勝	1	1	1	1	1	/
		第3位	1	1	1	1	1	/
	第4位~10位(優良賞)	各1	各1	各1	各1	各1	/	
佳良賞	20	20	20	20	20	スピ12 レシ12		
メダル	ファイナリスト	/	/	/	/	/	/	
(レプリカ)	杯	全商協会表彰(優勝)	/	/	/	/	/	/
		参加記念品(個人2名)	各1	各1	各1	各1	各1	

その他表彰・・・種目別表彰(珠電・トロフィー)、満点賞(珠電・トロフィー)、正確賞(ワープロ・時計)、会計士・税理士表彰(簿記・楯)

各種全国大会等の連続入賞による特別表彰規程

(令和 2 年 9 月施行)

全国商業高等学校長協会
公益財団法人全国商業高等学校協会

1 目的

全国商業高等学校長協会周年記念事業の一環として、商業教育の振興・活性化のため多大なる貢献をしてきた学校のうち、全商協会主催の各種全国大会において連続入賞し続けた学校を表彰する。

2 受賞の条件

3 条に規定する全商協会主催の対象大会において、同一大会の団体入賞が 10 年単位で連続した学校を対象とする。

なお、全国高等学校生徒商業研究発表大会および全商プログラミング・コンテストは、優良賞以上の入賞を対象とする。

3 対象大会

- (1) 全国高等学校珠算・電卓競技大会（珠算の部）
（令和 3 年度より 全国高等学校ビジネス計算競技大会（珠算の部））
- (2) 全国高等学校珠算・電卓競技大会（電卓の部）
（令和 3 年度より 全国高等学校ビジネス計算競技大会（電卓の部））
- (3) 全国高等学校簿記コンクール
（令和 3 年度より 全国高等学校簿記競技大会）
- (4) 全国高等学校ワープロ競技大会
- (5) 全国高等学校情報処理競技大会
- (6) 全国高等学校生徒商業研究発表大会
- (7) 全商プログラミング・コンテスト

4 申請手続き

指定の申請書等を全商協会へ送付。理事会および本部役員会において審査の上、決定する。

5 表彰時期

全国商業高等学校長協会周年記念事業において表彰する。

6 賞状

以下の表彰状とする。

7 実施開始時期

令和 3 年度以降の校長会周年事業から実施する。

表 彰 状	学 校 名 殿	令 和 年 月 日	全 国 商 業 高 等 学 校 長 協 会 公 益 財 団 法 人 全 国 商 業 高 等 学 校 協 会 理 事 長 ○ ○ ○ ○	貴校は全国商業高等学校長協会・公益財団法人全国商業高等学校協会主催の（競技大会名）において○年度から○年度に十年連続で入賞を果たされましたので○周年を記念しここにその榮譽を称え表彰いたします
-------------	----------------------	-----------------------------------	--	---

令和2年度 各種検定試験申込者・受験者・合格者数集計表

検定試験名		受験申込者数	実受験者数	合格者数	合格率
第140回 珠算・電卓実務検定試験	1級(普)	19,593	19,069	15,372	80.6%
	1級(ピ)	20,286	19,675	10,824	55.0%
	2級(普)	7,852	7,558	6,362	84.2%
	2級(ピ)	5,899	5,670	4,394	77.5%
	3級(普)	6,905	6,659	5,587	83.9%
	3級(ピ)	4,040	3,905	3,057	78.3%
	4級			2	100.0%
	5級	2	2	0	100.0%
	6級			0	100.0%
計		64,577	62,538	45,598	72.9%
第141回 珠算・電卓実務検定試験	1級(普)	35,079	33,344	27,141	81.4%
	1級(ピ)	34,848	32,885	19,125	58.2%
	2級(普)	25,406	24,263	21,369	88.1%
	2級(ピ)	27,659	26,450	22,120	83.6%
	3級(普)	20,615	19,355	16,424	84.9%
	3級(ピ)	20,792	19,667	16,197	82.4%
	4級			28	80.0%
	5級	39	35	1	82.9%
	6級			4	94.3%
計		164,438	155,999	122,409	78.5%
年度合計		229,015	218,537	168,007	76.9%
第90回 簿記実務検定試験	会計	11,808	11,270	2,869	25.5%
	原計	11,817	11,285	6,064	53.7%
	2級	10,214	9,738	3,361	34.5%
	3級	5,355	4,830	2,041	42.3%
	計	39,194	37,123	14,335	38.6%
第91回 簿記実務検定試験	会計	34,131	32,381	18,611	57.5%
	原計	35,832	34,196	19,099	55.9%
	2級	42,875	40,854	23,632	57.8%
	3級	39,659	37,382	25,339	67.8%
	計	152,497	144,813	86,681	59.9%
年度合計		191,691	181,936	101,016	55.5%
第64回 ビジネス文書実務検定試験	1級(文)	12,791	12,256	8,447	68.9%
	1級(速)	13,579	13,081	2,843	21.7%
	2級(文)	14,109	13,379	8,125	60.7%
	2級(速)	16,661	15,853	9,759	61.6%
	3級(文)	10,427	9,781	7,163	73.2%
	3級(速)	13,926	13,176	10,272	78.0%
	4級(文)	680	618	491	79.4%
	4級(速)	918	826	666	80.6%
	計	83,091	78,970	47,766	60.5%
第65回 ビジネス文書実務検定試験	1級(文)	18,746	17,631	10,239	58.1%
	1級(速)	20,837	19,695	8,301	42.1%
	2級(文)	36,405	34,461	26,121	75.8%
	2級(速)	41,003	38,910	17,948	46.1%
	3級(文)	51,609	49,104	41,068	83.6%
	3級(速)	63,312	60,388	50,636	83.9%
	4級(文)	5,091	4,683	4,007	85.6%
	4級(速)	6,932	6,315	5,178	82.0%
	計	243,935	231,187	163,498	70.7%
年度合計		327,026	310,157	211,264	68.1%
第64回 英語検定試験	1級	8,157	7,716	453	5.9%
	2級	20,231	19,073	1,268	6.6%
	3級	24,298	22,964	15,429	67.2%
	4級	1,015	828	383	46.3%
	計	53,701	50,581	17,533	34.7%
第65回 英語検定試験	1級	7,668	7,258	1,318	18.2%
	2級	25,129	23,824	3,772	15.8%
	3級	22,718	20,927	9,957	47.6%
	4級	1,891	1,626	762	46.9%
	計	57,406	53,635	15,809	29.5%
年度合計		111,107	104,216	33,342	32.0%
第63回 情報処理検定試験	1級(B)	23,007	21,497	6,030	28.1%
	1級(P)	3,845	3,638	1,932	53.1%
	2級(B)	23,259	21,577	9,823	45.5%
	2級(P)	5,257	4,954	2,871	58.0%
	3級	31,442	29,602	22,005	74.3%
	計	86,810	81,268	42,661	52.5%
第64回 情報処理検定試験	1級(B)	28,971	27,571	5,561	20.2%
	1級(P)	7,330	7,091	3,546	50.0%
	2級(B)	52,139	49,475	27,662	55.9%
	2級(P)	7,639	7,335	4,729	64.5%
	3級	44,951	42,246	32,731	77.5%
	計	141,030	133,718	74,229	55.5%
年度合計		227,840	214,986	116,890	54.4%
第35回 商業経済検定試験	ビジネス基礎	30,753	29,403	25,099	85.4%
	マーケティング	37,337	35,291	23,467	66.5%
	経済活動と法	14,279	13,085	6,982	53.4%
	ビジネス経済A	16,518	15,649	9,823	62.8%
	ビジネス経済B	4,264	3,874	2,328	60.1%
	計	103,151	97,302	67,699	69.6%
	1級			14,667	
2級			20,143		
第12回 会計実務検定試験	財務諸表分析	3,213	3,081	2,201	71.4%
	財務会計	2,030	1,930	546	28.3%
	管理会計	1,163	1,110	232	20.9%
	計	6,406	6,121	2,979	48.7%
第8回 ビジネスコミュニケーション試験		8,844	8,124	6,122	75.4%
	計	8,844	8,124	6,122	75.4%
総合計		1,205,080	1,141,379	707,319	

令和 3 年度 各種検定試験実施期日および申込期間

公益財団法人 全国商業高等学校協会

検定試験名	回数	実施期日	申込期間
珠算・電卓実務検定試験 Official Examination in Abacus and Electric Calculator	142	令和3年 6月20日(日)	令和3年4月6日(火)～4月16日(金)
	143	令和3年11月14日(日)	令和3年9月8日(水)～9月21日(火)
簿記実務検定試験 Official Examination in Bookkeeping	92	令和3年 6月27日(日)	令和3年4月12日(月)～4月23日(金)
	93	令和4年 1月23日(日)	令和3年10月21日(木)～11月5日(金)
ビジネス文書実務検定試験 Official Examination in Business Documents	66	令和3年 7月 4日(日)	令和3年4月16日(金)～5月10日(月)
	67	令和3年11月28日(日)	令和3年9月16日(木)～10月7日(木)
英語検定試験 Official Examination in English	66	令和3年 9月12日(日)	令和3年6月7日(月)～6月25日(金)
	67	令和3年12月19日(日)	令和3年9月22日(水)～10月8日(金)
情報処理検定試験 Official Examination in Computer	65	令和3年 9月26日(日)	令和3年7月1日(木)～7月13日(火)
	66	令和4年 1月30日(日)	令和3年11月1日(月)～11月15日(月)
商業経済検定試験 Official Examination in Commercial Economics and Laws	36	令和4年 2月 6日(日)	令和3年10月25日(月)～11月8日(月)
会計実務検定試験 Official Examination in Accounting	13	令和3年10月24日(日)	令和3年8月23日(月)～9月8日(水)
ビジネスコミュニケーション検定試験 Official Examination in Business Communication	9	令和3年 7月11日(日)	令和3年4月20日(火)～5月13日(木)

各受験料内訳 (+は消費税額加算を意味する)

単位：円

	1 級	2 級	3 級	備 考
珠算・電卓	普 910 +90	普 910 +90	普 910 +90	2部門(普通計算・ビジネス計算)合格で級合格 1部門につき ¥1,000-
	ビ 910 +90	ビ 910 +90	ビ 910 +90	
簿 記	1,182 +118	1,182 +118	1,182 +118	2科目(会計・原計)合格で1級 1科目につき ¥1,300-
ビジネス文書	ビ 1,091 +109	ビ 1,000 +100	ビ 819 +81	2部門(ビジネス文書・速度)合格で級合格 ビジネス文書部門 1級¥1,200- 2級¥1,100- 3級¥900- 速度部門 各級¥800-
		速度	728 +72	
英 語	1,182 +118	1,182 +118	1,091 +109	1・2級 ¥1,300- 3級 ¥1,200-
情 報 処 理	1,637 +163	1,364 +136	1,182 +118	1級の各部門 ¥1,800- 2級の各部門 ¥1,500- 3級 ¥1,300-
商 業 経 済		1,182 +118	1,182 +118	2級の科目2科目以上合格で1級 1科目につき ¥1,300-
会 計 実 務			1,637 +163	1科目につき ¥1,800-
ビ ^ジ ネ ^ス コ ^{ミュ} ニ ^{ケー} シ ^{ョン}			1,182 +118	¥1,300-

令和3年度 公益財団法人全国商業高等学校協会事業計画 (案)

月	日	行 事	月	日	行 事
4	上旬	商品開発調査(随時ホームページ掲載)	8	下旬	第55回海外商業教育事情視察(未定)
	10(土)	第8回理事会・令和3年度助成事業審査委員会・実務検定連絡協議会		下旬	全国商業高等学校プログラミングコンテスト審査
	13(火)	令和3年度助成事業決定通知	9	11(土)	第3回理事会
	15(木)	高校生奨学事業願書受付締切		中旬	大学生奨学事業奨学金第1回交付
	中旬	会計外部監査		12(日)	第66回英語検定試験
	16(金)	卒業生進路調査締切		17(金)	第2次助成金交付
	〃	第1次助成金交付		26(日)	第65回情報処理検定試験
	20(火)	大学生奨学事業願書受付締切		下旬	「全商会報」第139号発行
30(金)	高校生奨学事業推薦締切	10	24(日)	第13回会計実務検定試験	
			下旬	商業経済検定ニュース第34号発行	
5	1(土)	第9回理事会・会計内部監査	11	13(土)	第4回理事会・実務検定連絡協議会
	中旬	「全商広報」第40号・「高校の商業教育」・「生徒採用のお願い」発行		14(日)	第143回珠算・電卓実務検定試験
	中旬	情報教育第67号発行		24(水)～25(木)	第29回全国高等学校生徒商業研究発表大会(東京・タワーホール船堀) 1日目：リハーサル
	中旬	簿記検定ニュース第92号発行		28(日)	第67回ビジネス文書実務検定試験
	中旬	奨学事業選考委員会	12	4(土)・5(日)	商業教育講習会(Javaプログラミング講座) インターネット講習
16(日)	定時評議員会・第1回理事会(東京・一橋大学一橋講堂)	上旬		「商業教育研究」第73号発行	
6	19(土)	第2回理事会	4(土)～8(水)	第12回高校生国際交流事業(台湾)	
	20(日)	第142回珠算・電卓実務検定試験		※4(土)事前研修	
	27(日)	第92回簿記実務検定試験	19(日)	第67回英語検定試験	
	下旬	高校生奨学事業奨学金給付	9(日)	第38回全国商業高等学校 英語スピーチコンテスト(全商会館)	
〃	ビジネス文書検定ニュース第56号発行				
7	4(日)	第66回ビジネス文書実務検定試験	1	15(土)	第5回理事会
	中旬	令和3年度「会員名簿」発行		23(日)	第93回簿記実務検定試験
	11(日)	第9回ビジネスコミュニケーション検定試験		30(日)	第66回情報処理検定試験
	18(日)	第37回全国高等学校簿記競技大会(兵庫・関西学院大学)	2	5(土)	臨時評議員会・第6回理事会(全商会館)
	25(日)	第33回全国高等学校情報処理競技大会(広島・広島市立大学)		6(日)	第36回商業経済検定試験
	下旬	英語検定ニュース第53号発行		12(土)	全国珠算・電卓教育研究協議会(全商会館)
	27(火)～29(木)	商業教育講習会(情報スキルを伸ばす講義) インターネット講習		〃	全国ビジネス文書教育研究協議会(全商会館)
	28(水)～30(金)	商業教育講習会(会計実務に関する講義) インターネット講習		15(火)	卒業生成績優秀者表彰締切
28(水)	第68回全国高等学校ビジネス計算競技大会(福島・未定)	〃	三種目以上1級合格者表彰締切		
		28(月)	令和4年度助成事業申請締切		
8	4(水)～6(金)	第69回全国商業教育研究大会(沖縄・沖縄ハーバービューホテル)	3	中旬	大学生奨学事業奨学金第2回交付
	4(水)	第68回全国高等学校ワープロ競技大会(愛知・名古屋市中小企業振興会館 吹上ホール)		12(土)	全国商業経済教育研究協議会(全商会館)
	10(火)～12(木)	第13回全国商業教育指導者研修会(全商会館)(副校長・教頭対象)		〃	全国簿記教育研究協議会(全商会館)
	11(水)～13(金)	商業教育講習会(第57回実用英語セミナー) インターネット講習		13(日)	全国英語教育研究協議会(全商会館)
			〃	全国情報処理教育研究協議会(全商会館)	
			19(土)	第7回理事会	
			31(木)	令和3年度助成事業報告締切	
			下旬	検定試験関係書類集・ポスター発行	

令和3年度 全国商業高等学校長協会事業計画(案)

月	日	行 事	月	日	行 事
4	10(土)	第1回本部役員会		上旬	大学特別推薦Aグループ選考
5	1(土)	会計内部監査	9	11(土)	第4回本部役員会・顧問会
		第2回本部役員会		下旬	大学特別推薦Bグループ選考
	中旬	「全商広報」第40号・「高校の商業教育」・「生徒採用のお願い」発行		下旬	「全商会報」第139号発行
	16(日)	全国役員会(東京・一橋大学一橋講堂)			
	17(月)・18(火)	第146回 春季総会・研究協議会(東京・一橋大学一橋講堂)	10	6(水)	全国役員会(茨城・ホテルレイクビュー水戸)
6	上旬	「全商大学特別推薦要項」・「大学への要望書」発行		6(水)・7(木)	第147回秋季総会・研究協議会(茨城・ホテルレイクビュー水戸)
	下旬	第1回就職問題連絡協議会(全商会館)		12(金)	高大接続連絡協議会(全商会館)
	19(土)	第3回本部役員会		13(土)	連絡理事連絡協議会(全商会館)
7	中旬	令和3年度「会員名簿」発行	11	"	第5回本部役員会
	18(日)	第37回全国高等学校簿記競技大会(兵庫・関西学院大学)		24(水)～25(木)	第29回全国高等学校生徒商業研究発表大会(東京・タワーホール船堀) 1日目:リハーサル
	25(日)	第33回全国高等学校情報処理競技大会(広島・広島市立大学)		下旬	第2回就職問題連絡協議会(全商会館)
	28(水)	第68回全国高等学校ビジネス計算競技大会(福島・未定)		上旬	「商業教育研究」第73号発行
8	4(水)～6(金)	第69回全国商業教育研究大会(沖縄・沖縄ハーバービューホテル)	12	4(土)～8(水)	第12回高校生国際交流事業(台湾) ※4(土)事前研修
	4(水)	第68回全国高等学校ワープロ競技大会(愛知・名古屋市中小企業振興会館 吹上ホール)	1	9(日)	第38回全国商業高等学校英語スピーチコンテスト(全商会館)
	10(火)～12(木)	第13回全国商業教育指導者研修会(全商会館)(副校長・教頭対象)		15(土)	第6回本部役員会
	下旬	第55回海外商業教育事情視察(未定)	2	中旬	学校表彰推薦締切
	下旬	全国商業高等学校プログラミングコンテスト(全商会館)	3	19(土)	第7回本部役員会
				"	学校表彰選考委員会